



川崎市債投資セミナー開催

～ 全国初、市長による市民向けIRセミナー～

- 川崎市では、平成16年11月4日(木)に川崎市中原区の「エポックなかはら」におきまして、市民の皆様を対象に「川崎市債投資セミナー」を開催しました。(参加者117名)
- セミナーでは、阿部市長より「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」をめざした「新総合計画基本構想素案」を軸に市の将来展望と、12月に発行する予定のミニ公募債「川崎市民健康の森債」について説明しました。また、榊沢財政局長からは市の財政状況と行財政改革への取り組みを分かりやすく説明しました。第二部では、市民金融講座として「はじめて知る債券」の講演も行いました。
- このように市長が直接、市民にIR活動を行うのは全国でも初めての取り組みです。
- 市では、市場公募債の発行に際して、このようなIR説明会を通じ、投資家や市民の皆様への情報開示と対話(双方向コミュニケーション)を重視し、行政経営の透明性を高めていく方針です。
- 説明資料は後日、市のホームページのIRサイトに掲載します。http://www.city.kawasaki.jp/

< 式次第 >

日時：平成16年11月4日(木) 14:20～15:50
 場所：エポックなかはら 7階大会議室
 司会：島岡美延氏 「かわさきFM」パーソナリティー
 第一部 「川崎市の将来展望と市債について」
 説明：阿部孝夫 川崎市長、榊沢孝夫 財政局長
 第二部 市民金融講座「はじめて知る債券」
 講演：木村敬二氏(NPO法人金融知力普及協会)



< エポックなかはら >



< 阿部市長 >



< 阿部市長によるIR説明会 >

1-5. 市の予算を家計簿化すると

イメージしやすいように、市の予算を家計簿として置き換えてみると・・・

年収500万円(月収41万6,700円)と仮定します

収 入		支 出	
16年度予算(一般会計)	1ヶ月の家計に例えると	16年度予算(一般会計)	1ヶ月の家計に例えると
市民生活の充実	給料・パート収入 416,700円	人件費 1,173 万円	食費、服装費、ローンの返済などの固定費
3,457 万円		扶助費 831 万円	307,300円
		公費費 645 万円	
市民生活の充実	入居中のマンションの管理費の負担軽減分など	教育費・娯楽費・保険料など	車の購入・車の増設費・保険
1,100 万円	132,800円	880 万円	103,700円
市民生活の充実	各種ローンの借入金	税金等・雑費・出費など	子育てに必要への仕切りなど
663 万円	78,800円	1,245 万円	160,100円
		物件費 656 万円	先払費・借入金等
			87,000円
収入計 5,210 万円	収入計 828,100円	支出計 5,210 万円	支出計 828,100円

借金はどうなっているかというところ・・・ (年収500万円の家計に換算してみると)

一般会計の15年度末市債残高 = 8,806億円 → 1,274万円のローン残高

< 説明資料から >